

久保惣記念美術館茶室見学会のご案内

文化遺産信託研究会とアメニティ 2000 協会共催のフィールドワークをご案内します。久保惣記念美術館の館内、茶室、庭園をそれぞれの分野の大家の解説を聞きながら見学する贅沢なひと時です。この機会をお見逃しなく是非ご参加ください。

久保惣記念美術館は大阪府南部の古い集落のなかにある。1886年(明治19)初代久保惣太郎(1863-1928)が綿紡績業を創業し、二代惣太郎(1889-1944)、忠清(1900-1954)、三代惣太郎(1926-1984)と受継がれたが1977年(昭和52)に廃業し土地、建物、美術品、基金等が和泉市に寄贈され、1982年(昭和57)市立久保惣記念美術館として開館された。茶室及び庭園は、二代惣太郎夫妻によって、表千家の不審庵、残月亭写しの茶室「惣庵」「聴泉亭」、表千家第6代覚々斎原叟宗左(1678-1730)好みの茶室「楠蔭庵」が作られ、庭園も中潜り、梅見門、内腰掛、蹲踞、井戸飾等、茶室は、江戸時代から続いている家で表千家、武者小路千家に出入りの数寄屋師平井儀三郎、そして家元出入りの庭師に家元と同じように露地を作らせている。また、表千家13代家元即中斎(1901-1979)が完成した茶室に訪れている。其々の茶室に掲げられた扁額も即中斎の筆である。

日時:2025年10月15日(水)13時30分~15時30分

場所:久保惣記念美術館茶室 ※見学参加者は、13時20分に美術館前に集合
大阪府和泉市内田町三丁目6番12号(アクセスは裏面をごらんください)

費用:会員 2000円 一般 3000円 (美術館入館券は各自でご購入ください)

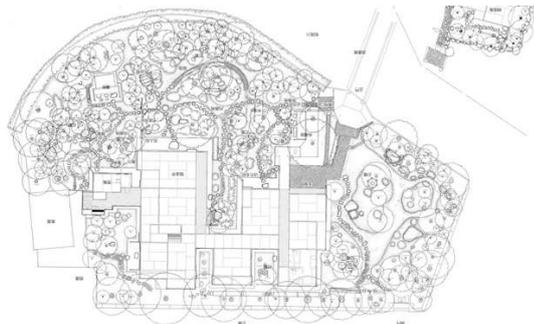
定員:25名(先着順) お申込みの際にオプション(下記)の有無もお知らせください。

内容:久保惣記念美術館と茶室見学

美術館展示解説:河田昌之館長

茶室解説:山形政昭文化遺産信託研究会理事

庭園解説:福原成雄文化遺産信託研究会理事長



茶庭は、茶室「惣庵」「聴泉亭」玄関前の前庭、露地、東蔵、西蔵からの勝手口前庭、坪庭、北側土塀沿いの側庭である。松尾川に架かる木橋「洗塵橋」を渡って正門を入り前庭を眺め玄関に至る。前庭は、広がりのある苔地築山に植栽、周囲を砂利敷きにした平庭で、背後の雑木林と一体となり山里の風情を醸し出している。露地へは玄関から露地口を潜り入る。露地構成は、露地口に入って「聴泉亭」の待合、外腰掛がある外露地、そこから「聴泉亭」に行く途中に外露地と内露地の境界である中潜りが設けられた「聴泉亭」の二重露地構成である。茶室「惣庵」に対しては「聴泉亭」の内露地が中露地となり、茶室「惣庵」内露地と合わせて三重露地構成の複合的で変化に富んだ露地で、表千家の露地構成を見事に写している。

☆オプション:見学前の昼食を一緒にいかがですか。

昼食:黒龍苑(中国料理 2000円程度)和泉市内田町4丁目2-5 TEL:0725-54-1916

集合場所:久保惣記念美術館前

集合時間:11時30分

【問合せ・申込】

アメニティ 2000 協会 または 文化遺産信託研究会 西宮市北昭和町 3-20

Email: info@bunkaisan-shintaku.org

電話・FAX: 0798-65-4303

携帯電話: 080-5701-0026 (事務局 アメニティ 2000 協会)

交通アクセス

■お車でお越しの場合：岸和田・和泉 IC から約3分

■電車・バスでお越しの場合

南海泉北線・・・和泉中央駅下車、

南海バス①「美術館前」行乗り場より乗車、「美術館前」下車

ACCESS MAP

